

## 第30期目録委員会記録 No.17

### 第17回委員会

日時：2006年11月25日（土）14～17時

場所：日本図書館協会5階会議室

出席：永田委員長、荻原、鈴木、原井、平田、古川、渡邊  
<事務局> 磯部

#### [配付資料]

1. 平成19年度第93回全国図書館大会東京大会分科会等企画提案書（1ページ-A4 件名標目委員会起案、事務局提供）
2. Suggestions Needing Discussion from IME ICC4 Participants, 3 November 2006（6ページ-A4）
3. Melvyl Recommender Project 報告書について（1ページ-A4 渡邊委員）
4. 研究図書館目録の危機と将来像：3機関の報告書から（4ページ-A4 渡邊委員）
5. JSC2006年10月16-20日の会議録（中略）の抜粋・編集（4ページ-A4 古川委員）
6. Categorization of content and carrier（21ページ-A4 JSCのホームページから）
7. “Bibliographic Relationships,” by Barbara B. Tillett. Ch. 2 in: *Relationships in the Organization of Knowledge*. 2001, p. 19-35（9ページ-A4）
8. MODS3.2について（1ページ-A4 平田委員）
9. MODS MLの話題（3ページ-A4 平田委員）
10. リポジトリのメタデータ状況（4ページ-A4 荻原委員）
11. 第30期目録委員会記録 No.16（2ページ-A4 事務局）

#### [事務事項]

1. 次年度全国図書館大会における、資料組織化関係の分科会の設置について  
配付資料1の提案に対して、これからの約1年間で新NCRの構想を確定することは困難なので、次年度はこの企画には加わらない、と意思表示する。
2. 第4回IME-ICCでの論点に関する8提案への回答について  
配付資料2における8つの提案に対して、第1～7については賛成の、第8（用語集に”physical unit”を追加しないとの趣旨）については反対の旨を回答する。第8提案への回答文案は、委員長がこれから作成しメーリングリストに載せる。

#### [検討事項]

1. 目録の実験プロジェクトおよび目録の将来像の報告書について

渡邊委員より、配付資料3と4に基づき次のような説明がなされた。

California Digital Libraryによる実験プロジェクトMelvyl Recommender Project の主な検討対象は、スペル訂正機能・レレバンスランキング（重み付け）・レコメンデーション（お勧め機能）の3点である。また目録の将来像については、カリフォルニア大学の報告が最もバランスが取れている。

これに対して、プロジェクトは検証不足との意見があった。

2. JSCの最新の会議（本年10月16-20日）の内容について

古川委員より、配付資料5～7に基づき主要内容について次のような説明がなされた。

- ・ RDAの基礎としてのIME-ICC草案・FRBR・FRADの役割を確認した。
- ・ RDAの刊行を”early 2009”に延期する。
- ・ RDA中の内容とキャリアに関するカテゴリーを、Media Type、Carrier Type、Content Typeと命名する。
- ・ 第6章と第7章の順を入れ替え、primary access pointの規定を第13章に移す。

これに対して、JSCの検討の方向に違和感を覚えるところはないとの意見があった。

3. MODSの現状について

平田委員より、配付資料8と9に基づき、本年6月にバージョンが3.2になったMODSについて、その変更点の説明がなされた。またMODS MLの主要な話題について紹介があった。

4. リポジトリの現状について

荻原委員より、配付資料10に基づき、NIIのJuNii2フォーマットと国会図書館のデジタルアーカイブシステムの改訂された記述要素の説明がなされた。

関連して、委員長より先に見学したミシガン大学図書館の事例の紹介があった。

次々回の委員会の予定

2月10日（土）14:00～

以上